

日医発第 2003 号（健Ⅱ）

令和 7 年 2 月 25 日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会常任理事
渡辺 弘司
(公印省略)

全国健康保険協会が実施する
生活習慣病にかかる重症化予防事業等の推進について

全国健康保険協会（以下、「協会けんぽ」という。）が実施する生活習慣病にかかる重症化予防事業については、令和 6 年 3 月 18 日付日医発第 2202 号（健Ⅱ）の文書をもって、都道府県医師会、郡市区医師会宛ご連絡いたしました。

当該重症化予防事業は、健診結果において、血圧・血糖・脂質で一定の基準に該当して要治療・要精密検査と判定されながら医療機関を受診していない方に対して、かかりつけ医への受診勧奨を実施することとしており、令和 7 年 1 月までに約 64 万人の方々に実施されております。

また、協会けんぽでは、令和 7 年 10 月以降は、生活習慣病予防健診時に受診した胸部エックス線検査で要治療・要精密検査と判定されながら医療機関を受診していない方々に対しても受診勧奨を実施することとしております。

今般、別添 1 のとおり、令和 7 年度においても、当該事業を実施する旨、本会に対して情報提供がありました。また、協会けんぽからは、該当する方々が受診する際、健診結果に加え、協会けんぽから届いた別添 2 の通知（令和 7 年 2 月時点）を持参するよう案内されております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご承知おきいただき、貴会管下郡市区医師会及び関係会員等への周知方ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

協保発第250220-01号

令和 7 年 2 月 20 日

公益社団法人 日本医師会 御中

全国健康保険協会本部
保健部長



生活習慣病にかかる重症化予防事業等の周知依頼について

平素より、全国健康保険協会の事業運営に特段のご配慮を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当協会では、主に中小企業で働く方とそのご家族に対して、糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症・重症化を予防する観点から、特定健診、その健診結果に応じた特定保健指導及び未治療者に対する重症化予防事業を実施しており、未治療者に対する重症化予防事業については平成 25 年 10 月から取り組んでいます。

当該事業では、生活習慣病予防健診受診者、特定健診受診者及び労働安全衛生法に基づく定期健康診断データを取得した者であり、健診の結果、血圧・血糖・脂質で要治療・要精密検査と判定されながら医療機関を受診していない方々へ通知を送付し、医療機関への受診勧奨を実施しております(別添 1 及び 2 のとおり)。

直近の実施状況といたしましては、令和 6 年 4 月から令和 7 年 1 月までに約 64 万人の方々に実施しております。

また、令和 7 年 10 月以降は、生活習慣病予防健診時に受診した胸部エックス線検査で要治療・要精密検査と判定されながら医療機関を受診していない方々に対しても受診勧奨を実施いたします。

該当された方々に対しては、医療機関を受診する際に、健診結果に加え当協会から届いた通知を持参するよう案内しておりますので、貴会におかれましては本件の趣旨をご理解いただき、都道府県医師会及び郡市医師会への周知について、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(お問い合わせ先)

全国健康保険協会本部

保健部

TEL : 03-6680-8853

令和 7 年度全国健康保険協会における重症化予防事業の取組について

1. 事業概要

生活習慣病の重症化予防対策として、健診結果（血圧、血糖、脂質）で「要治療」「要精密検査」と判定されながら医療機関を受診していない者に対して、医療機関への受診勧奨を実施する。

2. 一次勧奨

(1) 対象者

以下の①～④のすべてに該当する者。

①以下のア～ウのいずれかに該当する者

ア：生活習慣病予防健診を受診した年度末年齢が 75 歳未満の者

イ：特定健診を受診した年度末年齢が 75 歳未満の者

ウ：定期健康診断を受診した年度末年齢が 75 歳未満の者のうち、全国健康保険協会が健診結果データを取得した者

②健診受診月の前月から 4 か月以内に、医療機関への受診が確認できない者

③健診時の問診で服薬なしと回答した者

④以下の基準値のうち、いずれか 1 つでも該当する者

血圧		血糖		脂質
収縮期血圧	拡張期血圧	空腹時血糖	HbA1c (NGSP 値)	LDL コレステロール
160mmHg 以上	100mmHg 以上	126mg/dL 以上	6.5%以上	180mg/dL 以上

(2) 実施方法

協会本部が文書により実施する。

(3) 令和 7 年度の通知発送スケジュール（予定）

初回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回	9 回	10 回	11 回	12 回
5/7	5/30	6/30	7/31	8/29	9/30	10/31	11/28	1/5	1/30	2/27	3/31

3. 二次勧奨

(1) 対象者

一次勧奨対象者のうち、以下の①又は②に該当する者。

①以下の基準（血圧、血糖、脂質）のうち、2 つ以上に該当する者。

血圧		血糖		脂質
収縮期血圧	拡張期血圧	空腹時血糖	HbA1c (NGSP 値)	LDL コレステロール
160mmHg 以上	100mmHg 以上	126mg/dL 以上	6.5%以上	180mg/dL 以上

②以下の基準のうち、いずれか 1 つでも該当する者。

血圧		血糖	
収縮期血圧	拡張期血圧	空腹時血糖	HbA1c (NGSP 値)
180mmHg 以上	110mmHg 以上	160mg/dL 以上	8.4%以上

(2) 実施方法

協会本部が文書による一次勧奨を実施した後、協会支部が電話又は文書等により実施する。

健診後 医療機関を受診しなかった方の
リアルな声をお聞きください。

受診しなかった方からのメッセージ

脳卒中

毎年の健診結果で血圧とLDLコレステロール値が高めであることを指摘されていました。自覚症状もなかったため、特に気にしていませんでした。
その日は突然きました。朝、起きたらめまいに襲われて倒れてしまい、**3か月入院**しました。退院後も、リハビリを続けて、**4年たつてようやく歩けるよう**になりました。
趣味の登山ができず、何より仕事ができないことで**家族に迷惑をかけてしまった**という思いがあります。
あの時、健診結果で指摘されたことを病院に相談しておけばと思うと後悔しかありません。

53歳・男性・青森県



糖尿病

痛くもかゆくもなかったため、糖尿病を甘く見ていたのだと思います。網膜症から**左目失明**。家族は「自業自得だ」とあきれていました。ここで目がさめました。右目も見えにくくなり、真剣に糖尿病と向き合うことになりました。毎日の治療に「くじけそうになることがあっても、自分は瀬戸際だ。失明は怖い」とがんばらざるを得ません。若い人には「症状がなくても、**きちんと診療を受けて欲しい**。誰のためでもない、自分のために。それがひいては家族のためにもなるのだから」と言いたいです。

2型糖尿病歴30年
61歳・男性・愛媛県



出典：厚生労働省生活習慣病対策室
「糖尿病の治療を放置した働き盛りの今」



協会けんぽからの

健診受診後の

大切なお知らせです。

あなたの**健康**を
お守りするために
お送りしています。



健康な毎日を送るためには
健診結果を踏まえた次の行動が
重要です。

必ず開封して
内容を確認してください。



全国健康保険協会
協会けんぽ

【別添2-1】

開封前に宛名をご確認ください。

※宛名が異なる場合は、お手数ですが誤配達である旨を
ふせん等にご記入のうえ、郵便ポストに投函してください。

料金後納郵便

協会けんぽ

親展

重要

健診受診後の
大切なお知らせです。

必ず開封して
ください。

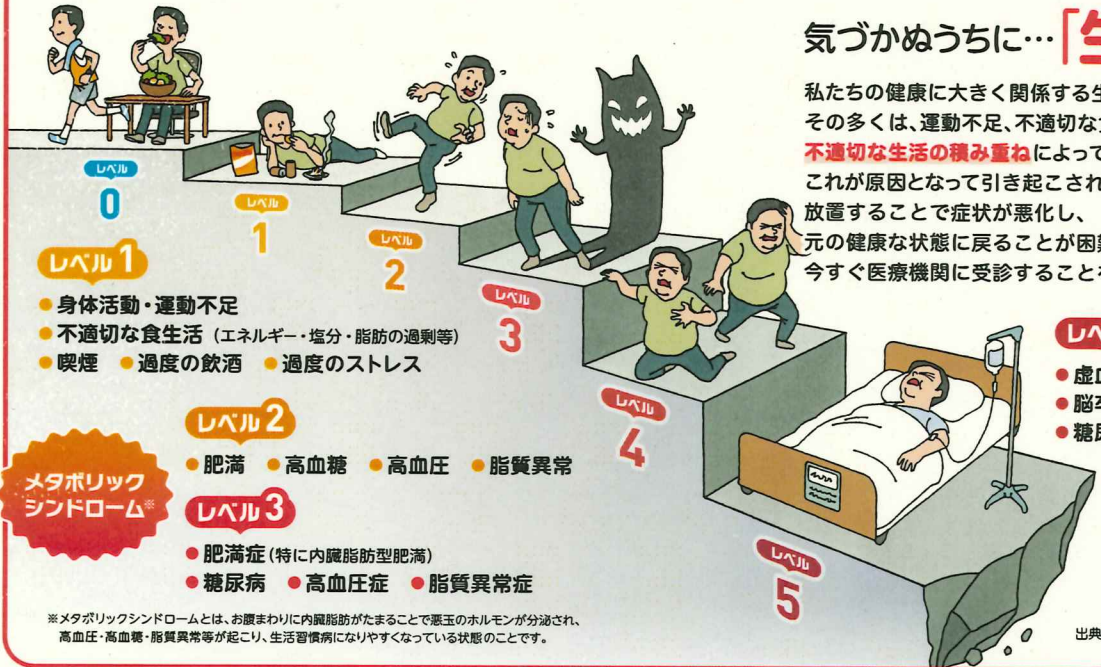
OPEN

あなたは今すぐ医療機関に受診を！ 健診結果を踏まえた次の行動が重要！

この通知は健診結果において、血圧値、空腹時血糖値（またはHbA1c）、LDLコレステロール値が「要治療」「要精密検査」と判断された方のうち、健診受診前月および健診受診月を含んだ健診受診後3か月以内に医療機関の受診が確認できなかった方にお送りしています。なお、本状と行き違いで既に医療機関にご相談、受診されていたり失礼のほど何卒ご容赦ください。受診の際は医師の判断の参考となりますので、本状と健診結果をお持ちください。

あなたの健診結果は

血圧		血糖		脂質		尿蛋白																																		
収縮期血圧値	拡張期血圧値	空腹時血糖値	HbA1c値	LDLコレステロール値	LDLコレステロール値	尿蛋白	尿蛋白																																	
mmHg		mg/dL		%		mg/dL																																		
<table border="1"> <tr> <th>収縮期血圧値 (mmHg)</th> <td><120</td> <td>120-129</td> <td>130-139</td> <td>140-159</td> <td>160-179</td> <td>≥180</td> </tr> <tr> <th>拡張期血圧値 (mmHg)</th> <td><80</td> <td><80</td> <td>80-89</td> <td>90-99</td> <td>100-109</td> <td>≥110</td> </tr> </table>		収縮期血圧値 (mmHg)	<120	120-129	130-139	140-159	160-179	≥180	拡張期血圧値 (mmHg)	<80	<80	80-89	90-99	100-109	≥110	<table border="1"> <tr> <th>空腹時血糖値 (mg/dL)</th> <td><100</td> <td><110</td> <td>≥126</td> </tr> <tr> <th>HbA1c値 (NGSP) (%)</th> <td><5.6</td> <td><6.0</td> <td>≥6.5</td> </tr> </table>		空腹時血糖値 (mg/dL)	<100	<110	≥126	HbA1c値 (NGSP) (%)	<5.6	<6.0	≥6.5	<table border="1"> <tr> <th>LDLコレステロール値 (mg/dL)</th> <td><120</td> <td>120-139</td> <td>140-179</td> <td>≥180</td> </tr> </table>		LDLコレステロール値 (mg/dL)	<120	120-139	140-179	≥180	<table border="1"> <tr> <th>尿蛋白</th> <td>-</td> <td>±</td> <td>+</td> <td>++</td> <td>+++</td> </tr> </table>		尿蛋白	-	±	+	++	+++
収縮期血圧値 (mmHg)	<120	120-129	130-139	140-159	160-179	≥180																																		
拡張期血圧値 (mmHg)	<80	<80	80-89	90-99	100-109	≥110																																		
空腹時血糖値 (mg/dL)	<100	<110	≥126																																					
HbA1c値 (NGSP) (%)	<5.6	<6.0	≥6.5																																					
LDLコレステロール値 (mg/dL)	<120	120-139	140-179	≥180																																				
尿蛋白	-	±	+	++	+++																																			



高血圧、高血糖、脂質異常等を放置するとどうなる？

【別添2-2】

高血圧

- 正常血圧と比べて血圧が高くなるほど脳卒中（脳出血、脳梗塞等）の発症リスクが高まります。
- 収縮期血圧値：160mmHg以上 拡張期血圧値：100mmHg以上 **5.2倍**
- 収縮期血圧値：180mmHg以上 拡張期血圧値：110mmHg以上 **8.4倍**

出典：日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2019」を基に作成

高血糖

- 高血糖の状態を放置すると、場合によっては、人工透析が必要になってしまいます。
- その**約4割**は**糖尿病性腎症**が原因です。

出典：日本透析医学会統計調査委員会「わが国の慢性透析療法の実況(2020年12月31日現在)」

脂質異常

- LDLコレステロール値が180mg/dL以上の人、100mg/dL未満の人と比べて**約3~4倍**、心筋梗塞等になりやすいことが分かっています。

出典：厚生労働省 健康局「標準的な健診・保健指導プログラム【令和6年度版】」

尿蛋白陽性

- 慢性腎臓病の疑いがあります。慢性腎臓病の人は、そうでない人と比べて透析治療が必要な状況になりやすいことが分かっています。
- 10倍以上**

出典：厚生労働省 健康局「標準的な健診・保健指導プログラム【令和6年度版】」

動脈硬化

- 脳出血、脳梗塞
- 狭心症、心筋梗塞

糖尿病

- 網膜症
- 腎症
- 神経障害

慢性腎臓病

自覚症状もないのに受診する意味がある？

高血圧症、糖尿病や脂質異常症等の生活習慣病は、**自覚症状がないまま徐々に進行するもの**。治療せずに放置すると、動脈硬化などが急速に進み、心疾患や脳卒中等の発症する危険度が高くなります。

健診で「要治療」「要精密検査」の結果が出たら、自分の身体の状態を見直す大きなターニングポイント。

早期に受診することで、重大な病気のリスクを下げられます。

返信がなかった場合、**あなたの健康を守るため、同じご住所へ再度ご案内をお送りするほか、お勤め先へご連絡させていただく場合も**ございます。あらかじめご了承ください。

なお、いただいた個人情報は協会けんぽの保健事業並びに個人が識別されない方法での統計・調査研究にのみ利用します。



キリトリ

郵便はがき

料金受取人払郵便



差出有効期間
年 月
日まで

(切手不要)

裏面の記入欄に情報保護シールを貼って投函してください。

ハガキのご使用方法

- ①裏面の①～④を記入してください。
- ②記載内容が隠れるように、個人情報保護シールをしっかりと貼りつけてください。
- ③郵便ポストへ投函してください。

※情報保護シールは宛名面左側にございます。



キリトリ

健診後 医療機関を受診しなかった方のリアルな声をお聞きください。

受診しなかった方からのメッセージ

脳卒中

毎年の健診結果で血圧とLDLコレステロール値が高めであることを指摘されていました。自覚症状もなかったので、特に気にしていませんでした。その日は突然きました。朝、起きたらめまいに襲われて倒れてしまい、3か月入院しました。退院後も、リハビリを続けて、4年たってようやく歩けるようになりました。趣味の登山ができず、何より仕事ができないことで**家族に迷惑をかけてしまった**という思いがあります。あの時、健診結果で指摘されたことを病院に相談しておけばと思うと後悔しかありません。

53歳・男性・青森県



糖尿病

痛くもかゆくもなかったので、糖尿病を甘く見ていたのだと思います。網膜症から**左目失明**。家族は「自業自得だ」とあきれしていました。ここで目がさめました。右目も見えにくくなり、真剣に糖尿病と向き合うことになりました。毎日の治療に「くじけそうになることがあっても、自分は瀬戸際だ。失明は怖い」とがんばらざるを得ません。若い人には「症状がなくても、**きちんと診療を受けて欲しい**。誰のためでもない、自分のために。それがひいては家族のためにもなるのだから」と言いたいです。

2型糖尿病歴30年
61歳・男性・愛媛県



出典：厚生労働省生活習慣病対策室「糖尿病の治療を放置した働き盛りの今」



協会けんぽからの

健診受診後の

大切なお知らせです。

あなたの**健康**を
お守りするために
お送りしています。



健康な毎日を送るためには
健診結果を踏まえた次の行動が重要です。

必ず開封して
内容を確認してください。

料金後納郵便
協会けんぽ

親展

重要

【別添2-3】

開封前に宛名をご確認ください。

※宛名が異なる場合は、お手数ですが誤配達である旨をふせん等にご記入のうえ、郵便ポストに投函してください。

健診受診後の
大切なお知らせです。

必ず開封して
ください。

 **全国健康保険協会**
協会けんぽ

OPEN

あなたは今すぐ医療機関に受診を！ 健診結果を踏まえた次の行動が重要！

この通知は健診結果において、血圧値、空腹時血糖値（またはHbA1c）、LDLコレステロール値が「要治療」「要精密検査」と判断された方のうち、健診受診前月および健診受診月を含んだ健診受診後3か月以内に医療機関の受診が確認できなかった方にお送りしています。なお、本状と行き違いで既に医療機関にご相談、受診されていまして失礼のほど何卒ご容赦ください。

あなたの健診結果は

血圧		血糖		脂質		尿蛋白	
収縮期血圧値	拡張期血圧値	空腹時血糖値	HbA1c値	LDLコレステロール値		尿蛋白	尿蛋白
mmHg	mmHg	mg/dL	%	%		mg/dL	



気づかぬうちに…「生活習慣病」

私たちの健康に大きく関係する生活習慣病。その多くは、運動不足、不適切な食生活、喫煙、過度な飲酒等の不適切な生活の積み重ねによってメタボリックシンドロームとなり、これが原因となって引き起こされます。放置することで症状が悪化し、元の健康な状態に戻ることが困難とされています。今すぐ医療機関に受診することをお勧めします。

- レベル1**
 - 身体活動・運動不足
 - 不適切な食生活（エネルギー・塩分・脂肪の過剰等）
 - 喫煙 ● 過度の飲酒 ● 過度のストレス
- レベル2**
 - 肥満 ● 高血糖 ● 高血圧 ● 脂質異常
- レベル3**
 - 肥満症（特に内臓脂肪型肥満）
 - 糖尿病 ● 高血圧症 ● 脂質異常症
- レベル4**
 - 虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症等）
 - 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
 - 糖尿病の合併症（失明・人工透析等）
- レベル5**
 - 半身の麻痺 ● 認知症
 - 日常生活における支障

出典：厚生労働省「生活習慣病のイメージ」を基に作成

※メタボリックシンドロームとは、お腹まわりに内臓脂肪がたまることで悪玉のホルモンが分泌され、高血圧・高血糖・脂質異常等が起こり、生活習慣病になりやすくなる状態のことです。

高血圧、 高血糖、脂質異常等を 放置するとどうなる？

- 高血圧**
 - 正常血圧と比べて血圧が高くなるほど脳卒中（脳出血、脳梗塞等）の発症リスクが高まります。
 - 収縮期血圧値：160mmHg以上 **5.2倍**
 - 拡張期血圧値：100mmHg以上 **8.4倍**
 - 収縮期血圧値：180mmHg以上
 - 拡張期血圧値：110mmHg以上
 - 出典：日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2019」を基に作成
- 高血糖**
 - 高血糖の状態を放置すると、場合によっては、人工透析が必要になってしまいます。
 - その約4割は糖尿病性腎症が原因です。
 - 出典：日本透析医学会透析調査委員会「わが国の慢性透析療法の現状（2020年12月31日現在）」
- 脂質異常**
 - LDLコレステロール値が180mg/dL以上の人、100mg/dL未満の人と比べて
 - 約3~4倍、心筋梗塞等になりやすいたことが分かっています。
 - 出典：厚生労働省 健康局「標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）」
- 動脈硬化**
 - 脳出血・脳梗塞
 - 狭心症・心筋梗塞
- 糖尿病**
 - 網膜症
 - 腎症
 - 神経障害
- 慢性腎臓病**
 - 人工透析

自覚症状もないのに受診する意味がある？

高血圧症、糖尿病や脂質異常症等の生活習慣病は、自覚症状がないまま徐々に進行するもの。治療せずに放置すると、動脈硬化などが急速に進み、心疾患や脳卒中等の発症する危険度が高くなります。



健診で「要治療」「要精密検査」の結果が出たら、自分の身体の状態を見直す大きなターニングポイント。

早期に受診することで、重大な病気のリスクを下げられます。

受診の流れ

【別添2-4】

STEP 1 医療機関を決める

はじめに、受診する医療機関を決めます。かかりつけ医がある場合は、かかりつけ医に受診しましょう。かかりつけ医がない場合は、厚生労働省の「医療情報ネット」でお探してください。



医療情報ネット

STEP 2 受診する日を決める

受診する医療機関を決めたら、ご自身の予定を確認して、医療機関に受診する日を決めましょう。

STEP 3 受診する

受診の際は医師の判断の参考となりますので、本状と健診結果をお持ちください。

受診状況のおたずね

通知内容をご確認いただき、医療機関への受診状況を記載のうえ、ご返送ください。

後日内容確認のため、協会けんぽの保健師等からご連絡する場合がありますので、連絡先もあわせてお知らせください。

ご多用のところ大変恐縮ですが、受診した又は受診のご予定等について、ご記入のうえ、**1週間以内**にご投函をお願いします。

ご記入後、個人情報保護シールを①~④が隠れるように貼りつけてください。

①医療機関への受診状況

受診した 受診する予定 (月 日頃)

その他 ()

②氏名

③平日につながる電話番号 (職場・自宅・携帯)

Tel. ()

ご希望の時間帯 ~ 頃

④ご案内の送付先 (職場・自宅) ※今回お送りした住所以外をご希望の場合

住所